



移住定住支援・教育・都市間交流について

やなぎさわ ひろ ゆき
柳 沢 浩 之 (清風クラブ)

マイホーム取得支援金について

問 住まいりー奨励金からマイホーム取得支援金に変更された。変更内容と実績は。

答 (企画政策部長) 変更内容は、基本額を5万円から10万円に拡充しました。加算額は、中学生以下の子ども加算を、一律2万円から子ども一人当たり5万円に、新幹線通勤加算を10万円から20万円に拡充しました。その他、市外からの移住者は5万円、空き家バンク物件を購入した際には、3万円の加算があります。実績は、34件の申請に対し、532万2,000円を交付しています。

問 マイホーム取得支援金をさらに充実させる施策は。

答 (同部長) 加算の対象の拡大等を、今後検討していきたいと考えています。

生徒の下校時の安全対策について

問 下校時の交通安全や防犯など安全対策は。

答 (教育部長) 児童生徒が安全に登下校できるように「通学路安全推進会議」で協議し、合同点検を実施しています。

問 日没が早まる下校時に見通しの悪い箇所に防犯灯の設置は。

答 (同部長) 通学路などで夜間暗いなどの理由により新たに防犯灯を設置してほしいという要望があり、対応が必要であると考えています。

その他、60歳以上の転入者在住支援、学びの多様化学校、友好都市協定の拡充、姉妹都市提携について質問しました。



マイホーム取得支援金パンフレット



社会的課題・保健衛生事業・若者定住支援策について

むしや よう こ
武者 葉 子 (公明党)

温暖化による猛暑対策について

問 熱中症や脱水症対策のため、給水スポットの拡充やペットボトル削減のために、マイボトル対応の冷水機設置についての考えは。

答 (市民環境部長) 冷水機は、市役所本庁舎、松井田庁舎、文化センター、文化会館、スポーツセンター、米山体育館、原市体育館、スマイルパークに設置しています。マイボトル対応の冷水機は、検討します。

ウイルス感染症対策について

問 群馬県のインフルエンザ警報が発令され、市内でも流行が続く中、小さい子どもや受験生のご家族から、予防接種費用の一部助成の再開を望む声があるが、市の見解は。

答 (保健福祉部長) 今後の感染症等の動向を踏まえ検討します。

奨学金返還支援制度について

問 「安中市に戻り就職したい」「安中市に移住したい」という若者への経済支援のため、奨学金の返還支援制度を導入し、支援する考えは。

答 (企画政策部長) 地域の担い手となる若者の定住促進、人口減少に歯止めをかけることなどを目的に、奨学金の返還を支援する支援制度のほか、市内の中小企業に就職した市内在住の若者に対し奨励金を交付する自治体や、電子地域通貨を活用している事例を参考に、若者への支援策を検討したいと考えます。



スポーツセンター内の冷水機